

皆さん、それぞれ愛用の文房具があると思う。小学生、中学生、高校生のうちは、まだまだ使えるのに新しい消しゴム、シャープペン、ボールペン、ペンケースなどを買ったりするものである。高校生のペンケース（筆入れ）には、何本ものペンが入っている。いったいどのように使い分けられるのだろうかと思ってしまう。大人になると、そうは買わなくなるのではなかろうか。逆に愛用のものが出てくるかもしれない。私の消しゴムは、いったい何年使っているかわからない。それでもまだまだ使える。消しゴムには賞味期限がないようである。ペンケースも40歳になった頃に、今までよりはけっこう値が張るものを手にしてからはずっと同じものを使っている。

シャープペンとボールペン、これが長年の課題であった。シャープペンは芯を補充していけばずっと使える。しかし、問題は書き心地である。いくつか試したり、何かのときにいただいたものを使ってみたりしたが、どうもしっくりこない。また、ボールペンは黒色と赤色を中心にインクがどんどん減っていく。替えインク芯型のものもあるが、こちらも書き心地が気になる。

私は、いつの頃からか、シャープペンと4色ボールペンが一体となったものを使うようになった。学校の先生の中には、左胸ポケットにシャープペン、赤ボールペン、黒ボールペン、蛍光ペンと何本も入れている方もいる。私はあのスタイルを支持しない。見るからに教員である。とにかく1本にしたい。シャープペンと4色ボールペンの一体型は、いくつかのメーカーから出ている。いろいろと試した。値段は安くはない。しかし、どれもしっくりこなかった。

半ばあきらめかけていた。あるとき文房具屋さんを何となく眺めていたところ、新たなシャープペンと4色ボールペン一体型を見つけた。それも値段が格段に安い。安い=よくないという考えが頭をよぎったが、とりあえず使ってみることにした。それで手にしたのが uni の JETSTREAM である。まずシャープペンの機能を試してみた。書きやすい。持ちやすい。字がうまくなったように感じた。これは驚きだった。次にボールペンを使ってみた。さらに驚かされた。「なんだこの滑らかな書き心地は」感動の境地だった。遂に出会うことができた。追い求めていたものに。もう迷うことはしない。

私は今まで JETSTREAM よりも高い価格帯の中から探していた。それが間違いだった。JETSTREAM に目がいていなかった。それ以来、私は JETSTREAM を愛用している。その歴史はかれこれ20年になる。我が家には何本もの JETSTREAM がある。ただし、黒ボールペンインクと赤ボールペンインクがなくなっているものだが、替えのインク芯を取り換えればずっと使えるのだが、ボディのカラーが5色ほど用意されているので、ボールペンのインクがなくなると、つい違うボディ色のものを買ってしまう。

先日、伊集院静さんの「大人の流儀9 ひとりで生きる」を読んでいたところ、165ページにこんなことが書かれてあった。

私は今、この原稿をボールペンで書いている。“ジェットストリーム”という三菱鉛筆が製造しているものだ。

長くさまざまなペン、鉛筆を使用してきたが、今はこれが一番、指、腕に負担がかからない。

私は毎月、四百枚から六百枚（四百字詰）の原稿を書いている。その大半がこのボールペンである。

うれしかった。あの伊集院静さんと同じものを使っていたとは。益々愛着が湧いてくるように感じる。現在はボディ色が赤のものと紺のものを併用している。どちらを使うかは、その日のスーツやネクタイの色に合わせて選んでいる。ちょっとした楽しみの一つである。どちらにも私の名前が彫られている。キャンペーンでネーム入れが無料だった。当分の間はこの2本を使っていくことになるだろう。